

17-07

モノづくり改善力パワーアップシリーズ ①

標準化と品質管理の進め方

取引先から要求される品質レベルの高度化に対応するためには、出荷検査だけでなく、全社的な品質管理の体制構築が必須です。

この研修では、品質を製造工程で取り込むQCの考え方と、その管理の進め方を学ぶとともに、演習を通じて自社の課題解決に取り組みます。

平成29年 **5月24日(水)～26日(金)**

- ▶ 対象者：製造部門の管理者・リーダー等
- ▶ 定員：30名 ▶ 研修時間：21時間
- ▶ 受講料：31,000円(税込み・教材費込み)

講師プロフィール(敬称略)

中村 茂弘(なかむら しげひろ)
QCD革新研究所 所長

早稲田大学大学院理工学研究科卒業。
日立金属株式会社勤務20年、一般社団法人日本能率協会を経て現職。
ISO9001審査員補、ISO14001審査員補、JMA不良クレームゼロ対策研究会委員主査、特許・リサイクル対策研究会主査、チームマネジメント研究会主査、技術・技能伝承対策研究会幹事を歴任。JMA専任講師。

研修のポイント

1. 品質は工程で作り込むとするQC的な考え方を理解し、品質管理活動のあり方を理解
2. QC7つ道具(新QC7つ道具)を用いた不良・クレーム撲滅対策の実践法を習得
3. 自社の具体的な品質管理改善案の作成演習により現場での実践力を養成

日時	科目	内容
5/24(水) 9:10 ～ 17:40 (途中1H昼休憩)	標準化の考え方と活用法	国際的な品質マネジメントシステム「ISO9000シリーズ」を中心に、全社的な品質管理体制構築の考え方や標準化の進め方について学んでいただきます。 ・ISO9001の理解と効果をあげる活用法、品質マネジメントの実情 ・標準化の進め方と品質管理
	QC7つ道具の理解	QC手法の代表であるQC7つ道具(新QC7つ道具)の知識や使い方について、演習を交えて理解・習得していただきます。 ・QC7つ道具(新QC7つ道具)の理解と活用 ・統計解析の活用、納入先とのデザイン・イン対策
5/25(木) 9:00 ～ 17:30 (途中1H昼休憩)	QC手法の実践的活用法	QC7つ道具(新QC7つ道具)の現場における活用法や、不良原因分析・不良発生予防の具体的な手法を学び、不良ゼロ化に向けた実践力を身に付けていただきます。 ・QC7つ道具(新QC7つ道具)の活用法の評価 ・三現主義による事実分析の進め方 ・不良原因の効果的な追求方法 ・標準化による不良発生予防対策
5/26(金) 9:00 ～ 16:00 (途中1H昼休憩)	自社の品質改善活動の検討	ここまで学んだQC手法や標準化の実務での活用法を参考として、自社の品質改善に向けた取組みを検討していただきます。 ・QC工程分析による不良撲滅の進め方 ・自社の品質問題の分析、品質改善活動の検討 ・グループによる検討、発表討論会

※ 5月24日(水)の研修終了後に受講者交流会を開催(参加費:2,500円)。受講者の皆様の交流を深めていただきます。

中小企業大学校広島校 TEL:082-278-4955

〒733-0834 広島市西区草津新町1-21-5 FAX 082-278-7201 URL <http://www.smrj.go.jp/inst/hiroshima/>

●お申し込み方法

「受講申込書」に必要事項をご記入の上、FAXまたは郵送にて右記あてにお送りください。また、ホームページ (<http://www.smrj.go.jp/inst/hiroshima/>) からもお申し込みできます。 ※お申し込みは先着順とさせていただきます。

お申し込み先：中小企業大学校 広島校
〒733-0834 広島市西区草津新町1-21-5
FAX 082-278-7201

●受講決定と受講料の納入

受入決定後、順次、中小企業大学校広島校から貴社の連絡担当者様あてに「受講決定通知(兼振込依頼書)」などを送付いたします。

受講料は記載された指定期日までにお振り込みください。

※振込手数料はご負担ください。

※納入後の受講料は、キャンセルされる場合でも一部又は全額を申し受けますので、予めご了承ください。

●校内宿泊施設のご案内

宿泊施設を併設しておりますので、ご希望の方は受講申込書内の「入寮申込書」にご記入ください。

●宿泊費：2,300円/泊(税込・朝食サービス) ※入寮時にフロントにて現金でお支払いください。

●昼食・夕食については、校内に食堂があり、1日(2食)1,200円程度でご利用いただけます。

●受講者交流会

受講者同士の交流会を開催しますので、ぜひご参加ください。会費：2,500円(税込) ※研修当日に頂戴いたします。

日時：平成29年5月24日(水)講義終了後(18時00分頃)から1時間30分程度 場所：広島校内 食堂(立食形式)

●中小企業大学校広島校への交通アクセス



<JRをご利用の場合>

JR山陽本線「新井口駅」下車 徒歩約30分

<市内電車をご利用の場合>

広島電鉄宮島線「草津駅」下車 徒歩約12分

<市内バスをご利用の場合>

広島バス 25番・50番「草津町」下車 徒歩約10分

<自家用車をご利用の場合> 無料駐車場完備(69台)

広島高速3号線(広島南道路)商工センター出入口から約1分
山陽自動車道 五日市I.C.から商工センター方面、草津沼田道路経由約15分

◎受講申込書 [No.17-07 標準化と品質管理の進め方]

中小企業大学校 広島校 宛

申込日 平成 年 月 日

ふりがな 企業名				代表者名 (役職)			
所在地	〒 —			TEL	() —		
業種	D 建設業	E 製造業	F 電気・ガス・熱供給・水道業	資本金	千円	従業員数	人
	G 情報通信業	H 運輸業	I 卸売業	創業	(西暦)	年	月
取扱い品目	I 小売業	J 金融業・保険業	K 不動産業・物品賃貸業	貴社の 事務連絡 担当者	Eメール		
	M 宿泊業・飲食サービス業	R サービス業	その他 ()		今後、当校のメールマガジンをお送りしてよろしいですか? <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ		
この研修をどのようにして 知りましたか?				所属・役職 ふりがな 氏名			
				①ダイレクトメール ②県・市等 ③商工団体等 ④他の受講者からの紹介 ⑤大学校のホームページ ⑥その他 ()			

受講者	ふりがな 氏名			年齢	歳	性別	男・女
	所属部署			役職	(該当区分に○) (代表者・役員・管理者・管理者候補等)		

【宿泊希望の方】

入寮申込書							
平成 年 月 日 () ~ 月 日 () 朝まで 泊 日 ※宿泊室は全て禁煙となっています。							
緊急連絡先(自宅の電話番号等)				※宿泊室には身体の不自由な方のための部屋があります。ご希望の方はその旨ご記入ください。			
() - ()				()			

<受講申込における個人情報の保護について>
中小企業基盤整備機構では「個人情報保護法」に基づき、受講者の個人情報の適切な管理に努めてまいります。受講申込書に記載されている内容をもとに、今後皆様へ有益と思われる研修のご案内を、郵便、電子メール、FAX等でお送りさせていただくことがあります。また、研修実施にあたり、講師に個人情報を通知する場合がありますが、より効果的な研修にすることを目的に行うものです。「個人情報」につきましてのご質問がございましたら、各地域本部までお寄せくださいますようお願いいたします。

FAX番号 **082-278-7201**